

## 会 議 の 状 況

令和 7 年度第 3 回青森県原子力施設環境放射線等監視評価会議評価委員会

1. 日 時 令和 7 年 10 月 23 日(木) 13:30～14:45

2. 場 所 アップルパレス青森 3 階 ねぶたの間

3. 出席委員 15 名

4. 提出資料

資 料 1 原子力施設環境放射線調査報告書(案)(令和 7 年度第 1 四半期報)

資 料 2 原子力施設環境放射線調査報告書データ集(案)(令和 7 年度第 1 四半期報)

資 料 3 東通原子力発電所温排水影響調査結果報告書(案)(令和 7 年度第 1 四半期報)

資 料 4 東通原子力発電所温排水影響調査に係る調査データの修正について

資 料 5 会議の状況

参考資料 1 原子燃料サイクル事業の現在の状況について

参考資料 2 東通原子力発電所の現在の状況について

参考資料 3 リサイクル燃料備蓄センターの現在の状況について

補足説明資料 原子力施設環境放射線調査報告書における調査結果[表]の  
記載様式変更について

5. 概 要

(1) 議事

1) 原子力施設環境放射線調査結果について(令和 7 年度第 1 四半期)

ア 原子燃料サイクル施設

県及び日本原燃(株)から資料 1 及び資料 2 により説明があり、次のとおり評価された。

- ・原子燃料サイクル施設に係る令和 7 年度第 1 四半期の環境放射線等調査結果は、これまでと同じ水準であった。原子燃料サイクル施設からの影響は認められなかった。

イ 東通原子力発電所

県及び東北電力(株)から資料 1 及び資料 2 により説明があり、次のとおり評価された。

- ・東通原子力発電所に係る令和 7 年度第 1 四半期の環境放射線調査結果は、これまでと同じ水準であった。東通原子力発電所からの影響は認められなかった。

ウ リサイクル燃料備蓄センター

県及びリサイクル燃料貯蔵(株)から資料 1 及び資料 2 により説明があり、次のとおり評価された。

- ・リサイクル燃料備蓄センターに係る令和 7 年度第 1 四半期の環境放射線調査結果は、これまでと同じ水準であった。リサイクル燃料備蓄センターからの影響は認められなかった。

東通原子力発電所に係る調査における松葉中のストロンチウム-90 濃度について、委員から、地点により測定値に差異が見られる理由について質問があり、東北電力(株)から、土壤中ストロンチウム-90 濃度の違いによるものと考えられると回答があった。

2) 東通原子力発電所温排水影響調査結果について(令和7年度第1四半期)

県から資料3により説明があり、今後も引き続き調査を継続し、データの収集に努めていくこととした。

St.27において化学的酸素要求量が過去同期の範囲を上回ったことについて、委員から、陸水の流入による影響か、プランクトンの繁殖による影響か質問があり、東北電力(株)から、どちらの影響でもないと考えられると回答があった。

また、委員から、採水前における降雨量やクロロフィルといったデータを把握しておくことが、化学的酸素要求量が変動した場合の評価のため大事であるとコメントがあった。

(2) 報告事項

1) 東通原子力発電所温排水影響調査に係る調査データの修正について

県から資料4により報告があった。

(3) その他

1) 原子燃料サイクル事業の現在の状況

日本原燃(株)から参考資料1により新規規制基準への対応状況、各事業の運転状況等について説明があった他、トラブル等の原因・対策について説明があった。

高レベル廃液ガラス固化建屋における排風機等の一時的な監視機能の停止について、委員から、トラブル発生時の負圧の状況について質問があり、日本原燃(株)から、B系全体の排風機が停止したが、A系が稼働していたため負圧は維持されていたと回答があった。

また、委員から、改正した社内ルールの理解度確認についてはガラス固化課のみが対象であるのか質問があり、日本原燃(株)から、全社的に新ルールの教育と理解度確認を行うと回答があった。

2) 東通原子力発電所の現在の状況

東北電力(株)から参考資料2により東通原子力発電所の運転状況、新規規制基準適合性審査の状況について説明があった他、安全対策工事完了時期に係る公表時期の見直しについて説明があった。

3) リサイクル燃料備蓄センターの現在の状況

リサイクル燃料貯蔵(株)から参考資料3により使用済燃料の受入れ状況及び定期事業者検査について説明があった。